

機能名称	詳細	概要	
監視機能	ベース機能	1分間隔ポーリング	高速で安定した監視が可能な自社開発エンジンにより、大規模システムでも詳細な性能監視ができます。
		性能情報の長期蓄積	取得した性能情報を標準で3年間保存できます。保存データは1分間隔をそのまま蓄積します。
	SNMP監視	SNMP設定登録	監視対象のホストに対してポーリングする際のSNMP情報を、画面上から設定できます。この設定は複数登録できます。
		MIBテンプレート	標準MIBだけでなく、多数のプライベートMIBもテンプレート化されています。 MIBファイルの解析などが不要なく、即座に必要な監視に対応可能です。 テンプレート対応状況 ベンダー数：116 / 項目数：3,541
		監視ホスト登録	監視対象のホストをIPアドレスの範囲を指定し、検索・登録できます。 多数のホスト登録も容易におこなうことができます。
		監視ホスト一覧	登録した監視ホストを一覧で表示します。 IPアドレス、ホスト名、ベンダー名などの情報で監視ホストを検索できます。
		監視テンプレート	機器ごとに監視テンプレートを自動判別し、監視可能な監視項目を表示します。 ホストごとにどんなMIB情報が取得可能かをシステム側で判断する為、導入工数を大幅に削減できます。
		監視項目登録	監視したい項目にチェックを入れることで監視がおこなえます。
		カスタムテンプレート機能	監視設定を機種ごとに任意の名称でテンプレート化できます。監視設定を簡便化でき、容易な導入ができます。
		しきい値テンプレート機能	CPU / Memory といった監視項目ごとに、統一のしきい値設定ができます。
		Keyword監視	動的に変化するOIDに対応しています。 Indexの変更を検知し、自動で設定を適正化します。
		v1 / v2c / v3 対応	さまざまな環境でも監視できます。 CentOS 5.X環境ではSNMP v3 のAESによる暗号化をご利用できません。DESによる暗号化はご利用できます。
		プロセス	Windows / Linux / UNIX サーバーのMIB情報から、対象サーバーのプロセス稼働状況を表示できます。 各プロセスの稼働数、CPU使用割合、メモリ使用量が詳細に把握できます。
		レスポンス監視	ICMP
DIG	指定ドメインのQuery Typeを指定し、応答状況ならびに応答時間(レスポンス)を計測します。		
DNS	指定ドメインの応答状況ならびに応答時間(レスポンス)を計測します。		
FTP	応答状況ならびに応答時間(レスポンス)を計測します。		
HTTP(s)	指定URLやURIの応答状況ならびに応答時間(レスポンス)を計測します。		
IMAP(s)	応答状況ならびに応答時間(レスポンス)を計測します。		
LDAP	AttributeやBind値を指定し、応答状況ならびに応答時間(レスポンス)を計測します。		
POP3(s)	応答状況ならびに応答時間(レスポンス)を計測します。		
PostgreSQL	DBを指定し、応答状況ならびに応答時間(レスポンス)を計測します。		
SMTP(s)	SMTP Auth設定も可能であり、応答状況ならびに応答時間(レスポンス)を計測します。		
Hypervisor監視	仮想ホスト、ゲスト監視	仮想ホストおよび仮想ゲストの情報をAPIで取得します。 CPUやネットワーク帯域だけではなく、ディスクI/Oやディスク遅延(レイテンシ)といった、仮想環境でトラブルの発生しやすいディスク関連の詳細監視や、メモリバロoning(Ballooning)、共有(Sharing)、スワップ(Swapping)といった、VMwareのゲスト環境独自のメモリ情報を含め、SNMP監視と同様に1分間隔の詳細な監視ができます。	
	vCenter一括登録	vCenterからホスト情報を取得し、複数の仮想ホストの登録や、クラスタやデータセンター情報も合わせて、一括で登録できます。	
	仮想マシンテンプレート機能	監視設定を仮想ホストおよび仮想ゲストごとにテンプレート化できます。監視設定を簡便化でき、容易な導入ができます。	
アプリケーション監視	NTP	NTPサーバーのJitterやOffset値を計測します。	
	MySQL	MySQLサーバーの指定Queryの応答値や、threads / questions / slow / opens / flush / opentables / avg の各値を取得できます。	
ステータス監視	インターフェース	インターフェースのUP / Downを検知し、指定された状態から変動があった際の異常・復旧を把握できます。	

	DHCPサービス	DHCPサービスの稼働状況を把握できます。	
	RADIUSサービス	RADIUSサービスの稼働状況を把握できます。	
	SSHサービス	SSHサービスの稼働状況を把握できます。	
	ファンスステータス	Cisco機器のファンスステータスを把握できます。	
	電圧ステータス	Cisco機器の電圧ステータスを把握できます。	
	温度ステータス	Cisco機器の温度ステータスを把握できます。	
コマンド監視	バリュースト監視	任意のコマンドで監視を行い、実行コマンドの応答結果を表示します。	
	バリュースト監視 (複数)	任意のコマンドで監視を行い、実行コマンドの応答結果を最大10個の複数データソースで表示します。	
	レスポンス監視	任意のコマンドで監視を行い、実行コマンドのレスポンス結果を表示します。	
	レスポンス監視 (複数)	任意のコマンドで監視を行い、実行コマンドのレスポンス結果を最大2個の複数データソースで表示します。	
	ステータス監視	任意のコマンドで監視を行い、実行コマンドのステータス結果を表示します。	
SNMP Trap監視	Trap Server	SNMP Trapを受信し、トラップ表示画面へ詳細を表示します。	
	Trap表示	受信したTrapの発生日時、ホスト名、トラップ種別、トラップ詳細を任意の期間の情報で表示できます。	
	トラップ表示設定	受信したTrapのOID別にレベルを5段階に分け、分かりやすく画面表示をおこなったり、アラート通知可否を指定できます。	
Syslog監視	Syslog Server	Syslogを受信し、シスログ表示画面へメッセージ内容などを表示します。	
	Syslog表示	受信したSyslogを、任意の期間、ホスト名、ファシリティ、プライオリティ、プログラム名、メッセージでフィルタした情報で表示できます。 画面に表示したSyslogをCSVファイルでエクスポートすることもできます。	
	シスログキーワード設定	受信したSyslogより正規表現キーワードに一致したメッセージをアラート通知できます。	
	プログラムフィールド設定	受信したSyslogより、フィルタに一致したメッセージのプログラム名にあたる区切り位置を指定できます。	
表示機能	グループ表示機能	グループ一覧表示	グループを一覧表示します。また、各グループは表示色により状態を簡単に把握できます。
		グループツリー表示	グループ設定を元に、ツリーや階層を表示致します。
		負荷率表示	監視ホストから取得した性能情報を元に、負荷率を表示します。
		ホスト情報表示	監視ホストの装置情報やホスト名、インターフェース一覧といった基本情報が、一元的に把握できます。
		インターフェース情報	監視ホストのインターフェースの詳細情報を一覧で表示し、対象インターフェースへの ping / traceroute を Web上で実施できます。
		プロセス表示	サーバープロセスの現在値を把握できます。 PID、プロセス名、CPU使用時間、メモリ使用量を各種ランキングで表示可能です。
		アラート表示	対象ホストのアラート一覧を表示致します。
グラフ表示機能	任意のグラフ表示	任意のグラフ表示	指定した時間範囲や、1時間～3年まで、任意の期間でのグラフを表示します。また、最大値や最小値の指定、ならびにさまざまな描画方法も選択できます。詳細な性能情報を分かりやすく把握できます。
		サマリー表示機能	過去1日、過去1週間、過去1ヶ月、過去1年前のグラフを1画面に表示します。
		マウス操作でのグラフ表示	過去1日、過去1週間、過去1ヶ月、過去1年前のグラフを1画面に表示します。
		CSVエクスポート	指定した時間のグラフデータをCSV形式でエクスポートできます。
ランキング表示機能	ランキング機能	監視項目別のデータ値や使用率をランキング形式で表示します。膨大な監視対象から把握すべき情報を値だけでなく、過去データをグラフとして表示します。	
アラート表示機能	表示フィルタ機能	継続的なアラートを集約して表示したり、さまざまなフィルタ機能に必要な情報を分かりやすく把握できます。	
	受諾機能	不要なアラートに対しての受諾機能を活用することで、対処が必要なアラートのみを表示できます。	
Hypervisor表示機能	グループツリー表示	vCenter単位、データセンター単位、クラスタ単位、仮想ホストサーバー単位といったグループでの表示をおこない、多数のホスト/ゲストの稼働状態を把握できます。	
	ダッシュボード機能	仮想ホスト、ゲストの性能情報をダッシュボード形式で表示することで、現状のリソース状態を分かりやすく詳細に把握できます。	
	グラフ表示機能	取得した性能情報を、物理サーバーやネットワーク機器と同じユーザーインターフェースで詳細に把握できます。 仮想化システムだけでなく、システム全体を俯瞰的に把握するユーザーインターフェースを統一した画面で構成し、管理者の負担を軽減します。	

		サマリ機能	仮想ホスト、ゲストの CPU / Memory / ディスク遅延 / ディスクIOPSのサマリを表示し、把握したいホスト・ゲストのフィルタや、負荷状況での並び替えをおこなうことで、多数の監視対象から詳細を把握しなくてもよいホスト・ゲストを確認することができます。
		検索機能	複数の条件で監視ゲストを検索できます。 検索結果で、対象ゲストのPower状態、稼働しているホスト情報、vMotionした時間帯が把握できます。
		イベント表示機能	仮想ゲストの稼働に影響したイベントを表示します。 Powerステータスの遷移や、vMotion移動前後の仮想ホスト情報などを把握できます。
	Topology表示機能	L3/L2 Topology表示	自動取得したL3ならびにL2のトポロジー情報を表示します。 ネットワークセグメントの接続構成やネットワークセグメント内のL2構成をWebGUIで分かりやすく表示できます。
		トラフィック分布	性能情報で取得したTraffic情報を元に、どのセグメント間や、どのホスト間で多量のTrafficが流れているのか、Traffic分布をトポロジー上に表示できます。
		アラート表示連携	アラート状態をトポロジー画面に表示し、アラート発生状況を視覚的に分かりやすく表示します。
	スマートビュー	スマートビュー	Trapアラートやアラート一覧をウィジェット形式で任意に配置できます。 必要な情報を迅速に確認することが可能となる為、現状把握の迅速化や運用工数の削減ができます。
	ブックマーク機能	ブックマーク機能	ユーザーアカウント毎に性能グラフを任意に選択して、一覧表示できます。 他ホストとの相関分析や、システム一覧での負荷傾向把握など、分析工数を大幅に削減できます。
分析機能	予測分析	ベースライン	性能監視の結果を学習し、傾向の予測から大きく変化があった場合にアラートとして検知をおこないます。 サイレント障害検知などに活用できます。
	傾向把握	トレンドライン	取得データの傾向の変化率を値・グラフで描画し、視覚的に今後の変動を予測できます。
	稼働比較	タイムシフト	過去情報との比較を1グラフで表示します。リソースなどの変動を分かりやすく表示します。
	レイテンシ分析	レイテンシ分析	レスポンス監視のデータから、遅延状況を分かりやすく表示する機能です。 SLAの考え方をベースにしており、指定したレスポンスレベル（ランク）毎の変動を視覚的に把握できます。
	95% ライン	95% ライン	表示した期間のデータの中の95パーセンタイルの値の表示、ならびにグラフ上にラインを表示します。
アラート機能	アラート検知機能	しきい値登録	上限ならびに下限の3段階のしきい値を設け、注意 / 警戒 / 警告 レベルで通知します。
		アラート検知	性能監視、死活監視、ステータス監視でタイムアウト、ステータス変更やindex変更といったSNMPで正常に取得できない異常を、アラートとして検知します。
	アラート通知機能	アラート送信先設定	アラート検知時に通知するメールアドレスおよび回転灯を指定します。
		メール通知	アラート検知時に任意の件名・本文で指定したメールアドレスに通知します。 アラート通知回数および間隔をアラートレベルによりカスタマイズできます。
		回転灯通知	アラート検知時に色や音パターンを指定して各種回転灯に通知します。 アラート通知回数および間隔をアラートレベルによりカスタマイズできます。
		シスログ通知	アラート検知時にFacilityやPriorityを指定してsyslogサーバーに通知します。 アラート通知回数および間隔をアラートレベルによりカスタマイズできます。
		トラップ通知	アラート検知時にTrapサーバーに通知します。 アラート通知回数および間隔をアラートレベルによりカスタマイズできます。
		コマンド通知 (ソフトウェア)	アラート検知時に任意のコマンドを実行します。 アラート通知回数および間隔をアラートレベルによりカスタマイズできます。
		アラートスケジュール	各種アラート通知の実行を曜日・時間でカスタマイズできます。
	グループ機能	グループ設定	ホストを所属させるグループを設定できます。 親・子といった階層化したグループを設定することもできます。
		アカウント制御	アカウントごとに、閲覧できるグループや通知するアラートをカスタマイズできます。
		アラート通知制御	グループ毎にアラート通知先を複数指定することができます。
その他	ノード自動探索	Topology探索	定期的にTopology状態を探索します。 Topology構成の変更を自動で把握し、新たに接続されたホストも自動的に監視対象に登録し、監視に関わる運用負荷を軽減します。
		ノード探索除外設定	Topology構成を作成する際に、探索から除外するIPアドレスを設定できます。
	グローバルベースライン	グローバルベースライン	グローバルベースラインは、お客様の環境で計測した性能情報をGlobal Baseline Serverで収集・統計をおこない、各製品の性能監視の指標となる性能データ値を、無償で公開するサービスです。 製品ごとおよび監視項目ごとの最適な統計値に基づいた性能監視が可能になります。 使用約款への同意、ならびにGlobal Baseline Serverへデータ送信をおこなっていただくことで、本情報を閲覧することができます。
		送信時刻設定	Global Baseline Serverにデータ送信する時刻を設定できます。
		プロキシ設定	Global Baseline Serverにデータ送信する際のプロキシ情報を設定できます。
		出力結果・ダウンロード	Global Baseline Serverに送信した結果の一覧を表示し、送信したデータをダウンロードできます。

API機能	API機能	System Answer G2で取得した性能監視情報を、お客様のポータルサイトやアプリケーション上で公開することができる連携機能です。監視対象ホスト情報、監視設定、設定性能情報、グラフ画像、レイテンシーグラフ画像、CSVデータといった、さまざまな情報を取得することができます。
自動レポート出力	自動レポート出力	定期診断レポート、設備投資計画用のデータ資料として、System Answer G2で収集した性能監視情報から、word形式で自動的にレポートを作成することができます。
MIB Loader	MIB Loader	機器のMIBファイルを取り込み、ランキング表示、カスタムテンプレート、SNMP TrapのOID表示を該当機器のシステム名に変換する機能です。
テンプレートアップデート	テンプレートアップデート	定期的にアップデートをしている SNMPプライベートMIB情報を追加できます。 また、テンプレートアップデートサービスをご利用頂くことで、新しく導入される装置のMIB調査や監視テストを IBC がおこない、お客様に負担をかけることなく、マルチベンダー環境の詳細な性能監視を継続することができます。
監視ホストマージ機能	監視ホストマージ機能	監視ホストの構成変更があった場合でも、今までの設定や性能データを引き継ぐことができます。 v02.11.50以前をご利用している場合、同一グループに所属している状態でホストをマージすると正常に監視項目が引き継がれないことがあります。 V02.11.50以前でホストをマージする際は一旦グループの紐付きを外してマージをおこなうようにお願いします。 本不具合はv02.11.60以降で機能修正しております。
IPv6対応 (β提供)	IPv6対応 (β提供)	死活監視、SNMP監視ならびに一部のレスポンス監視を、IPv6にて監視ができます。
海外対応	言語切替	表示する言語を切り替えることができます。現在は日本語と英語に対応しています。
	タイムゾーン設定	アカウント毎に、監視画面上のタイムゾーンを変更できます。
モジュール別ソフトウェア	監視エンジン冗長化	監視エンジンをN+1配置をすることで、トラブルが発生しても自動的に稼働中の別の監視エンジンで代替動作をおこないます。
	監視エンジン負荷分散	複数エンジンに対して適切な監視設定を自動的に割り振り、エンジンの負荷を分散する機能を実装しています。
	スケールアウト	監視対象が急激に増えた場合でも、エンジン追加をおこなうことで対応できます。 システム稼働中でも対応ができる、スケールアウト型の監視システムです。
アプライアンス機能 (Applianceのみ実装)	システム稼働通知	サービスの稼働状況およびライセンスの有効期間を通知できます。
	システムアップデート	アップデートサイトからダウンロードしたファイルでWebUI上から簡便にアップデートをおこなうことができます。
	システムパッチアップデート	製品リリースまでの暫定対処でIBCが提供するシステムパッチを適用できます。
	装置設定引き継ぎ	アプライアンスの筐体設定や監視設定をWebUI上からエクスポート、インポートすることができます。 障害発生後の新しい筐体や冗長構成の筐体へ簡便に設定情報を引き継ぐことができます。